

平成26年度 事業報告書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

1 はじめに

特定非営利活動法人 東京養育家庭の会

26年度経過報告

① 養育家庭と子ども達への支援の充実。

- 1) 支部を活動の原点とする方針は、サロンや児童相談所をベースに定着し地域での子育てが定着してきている。里親と児童相談所との垣根が未だ高いという指摘もあったが、大筋では好ましい連携を保てた。
- 2) 小学生低学年を対象とした夏の臨海教室は、養護施設と一緒に集団生活するこどもの活発な姿が見られた。小学生高学年を対象にT学園と共同でキャンプを実施し里子OBの協力を得るなどして楽しい催し物となった。
- 3) これまで取り組んできた18歳問題については、高校生は資生堂による単立ちのフェスティバル、アン基金による自立講座も好評であった。里親に着目した慰労と感謝の集いも関係者参加を得て所期の目標を達成できた。
加えて、沼津と岡山でのユースの集いへの参加を促し、集いをリードする役割を果たした。
- 4) 3年目を終えた里親支援について運用面で問題点の報告がみられた。児童相談所との関係や里親専門相談員との交流等課題を残している。

② 児童福祉審議会に里親から委員が出て意見を述べる事ができた。これからの施策の方向性を議論することができた。具体化については今後の課題として取り組むこととした。意見表明に向けて会の中に検討チームを編成して取り組んだ。

③ 研修事業の充実

一部の研修では夫婦で参加する方式になったが、里親の協力を得ながら対応することができた。

④ その他

- 1) 普及啓発の推進：リーフレット、ポスター、ホームページ、体験発表への協力に取り組んだ。
- 2) 執行体制強化：運営会議を毎週開催し、責任を明確にした執行体制を執ることができた。
- 3) 理事の支部訪問：内容のある話ができ効果のある企画であった。
- 4) 全里会・関ブロ：本部が都内にある関係からさまざまな場面に参加し、運営に貢献できた。そこで得た情報を会の運営に反映することができた。
- 5) 里母の会（仮称）が発足し、東京から役員を派遣し初期の役割を果たした。

2 事業の実施に関する事

事業名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
(A) 養育家庭に対する支援事業	① 全体会交流会事業 東京都と共催で養育家庭の交流を開催し、子ども達同士の交流	11月9日	井の頭自然文化園	12名	全養育家庭 大人 64名 子ども 53名	43
	②里親交流事業 前年度に続き、社会へ巣立たせた里親の集いを開催	3月15日	中野サンプラザ	3名	里親 8名	60
	③里親促進事業 22年度から全国里親会里親促進の補助金が廃止された関係から、支部活動の財源確保	9月18日	各支部	3名	各支部	265
	④つなぎ資金の運営 里子の進学・就職に必要な資金の一時的立替	随時	養育家庭連携室	1名	2家庭	特別会計
	⑤東社協との連携（児童養護施設） 評議委員会、里親制度支援委員会、友愛互助会、自立スタート支援委員会に参加します。児童養護施設との交流を進めた。	随時	都内	3名	東京都の全養育家庭	

(B) 養育家庭で育つ子どもへの支援事業	① 自立支援事業(中学生) ・養育家庭で育つ子どもへの自立準備のために、中・高校生期からの交流 ・18歳後の生活の確保に向けて様々な試みをした。 併せて思春期ケース会議を開催	8月20日	新宿文化センター	2名	養育家庭で育つ高校生 4名	26	
		3月20日	資生堂汐留ビル	2名	養育家庭で育つ高校生 3名		
	② こども支援事業(小学生) ・幼少期事業(興津臨海〈小1〜3〉・その他) ・学童期事業(山キャンプ)	8月2〜4日	千葉県興津	3名	小学生4名	24	
		8月14日〜16日	陣馬山	7名 内学ボラ3人	小学生6名	100	
	③ 招待行事 a.サマーキャンプ・デイキャンプの実施。 (アサヒKIDSプロジェクトと共催) b.その他 スポーツ観戦・観劇・音楽鑑賞・スポーツ体験の実施 (ヤクルトスワローズ、オンワード樫山、各種団体からの招待)	5月25日	ディ・キャンプ 葛西臨海公園	2名	小・中学生 6名	10	
		11月22日	ディ・キャンプ 鉄道博物館 埼玉県	2名	小・中学生 5名		
		8月2・3日	ソレイユの丘 葉山	2名	小・中学生 5名		
		随時	各種団体の招待により異なる	3名	養育家庭で育つ里親子 約700名		
	情報収集及び情報提供事業 する 関	① 第60回 ・関東甲信越静里親研究協議会大会の企画に参加 ・大会の代表者会議	7月5.6日	沼津市	2名	当会の養育家庭 大人 17名 子ども 2名 ユース 9名	137
			4月5.6日	沼津市	2名		
② 第60回 全国里親大会		10月18〜19日	岡山県	3名	当会の養育家庭 大人 5名 子ども 2名 ユース 6名	83	
事業 (D) 養育家庭に関する普及啓発	③ 関係機関との交流 (全国児童養護施設協議会・東社協児童部会・等)	11月18日 3月17日	大宮都内	5名	養育家庭 5家庭	12	
		① 会報の発行 会独自の会報を発	7月 12月 3月	都内	3名	会員及び関係機関 350部×3	75
		② 養育家庭制度に関するPR 養育家庭制度及び会の活動を紹介し、広く里親制度を啓発するため、ホームページの活用、リーフレット、ポスターを作成	随時	都内	5名	都内全域	27
(E) その他事業	③ 勉強会 里親に対する研修・里親及び里親関係者、一般に対する勉強会の開催	5月17日	都内	3名	養育家庭 50名	20	
		① その他 ・随時要請に応じて様々な企画を実施 ・養育家庭の10年の歩みと今後の方向を考えた。					

(F) 養育家庭に対する教育事業 (受託事業)

里親養育力向上計画総合プログラム事業					特別会計
① 里親研修事業	随時 (別紙参照)	都内	11名	東京都の 里親家庭	
② 『Tokyo里親net』を、当会 と東京都が共同で発行し、登 録里親、会員、関係者に配布	毎月1回発行	連携室	6名	東京都の 里親家庭	
② ホームページの管理	随時	連携室	2名		
③ 普及啓発活動 都や区市町村と協力し、養 育家庭制度の普及啓発のた めの体験発表等	随時	児童相談所 都内全域	15名		
養育家庭支援事業					
① 支援員連絡会・勉強会	年7回	見相センター	2名	養育家庭支 援員22名	
② 養育家庭への支援 各児童相談所に支援員を 配置し、地域の児童相談 所と連携して養育家庭に 対する支援活。	随時	各児童相談所 他	22名	養育家庭とし そこで暮ら育 つこども	